

この度は、C-390H：エアーカッティングサンダー (3") をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には内容品の確認と使用時における注意事項を熟読頂き、ご理解の上で使用くださいますようお願い致します。

内容品・名称



- | | |
|-------------|-----------------------|
| ① C-390H-P1 | エアーカッティングサンダー (3" 本体) |
| ② C-390K-P5 | ディスクナット&カラーセット |
| ③ C-390-P3 | ディスクカバー |
| ④ C-390-P11 | スパナセット |
| ⑤ C-390-P7 | カプラー 20PM |
| ⑥ ACSD-75 | カッティングディスク |

注意事項

①使用エア圧力



ツール本体でエア圧力及び流量の調整はできません！

最大使用エア圧力は 7kgf/cm² です。

別売りの「**インラインレギュレーター HK-2009WM-7HS**」を使用すると自動的に規定値まで減圧できます。

※別売り

HK-2009WM-7HS

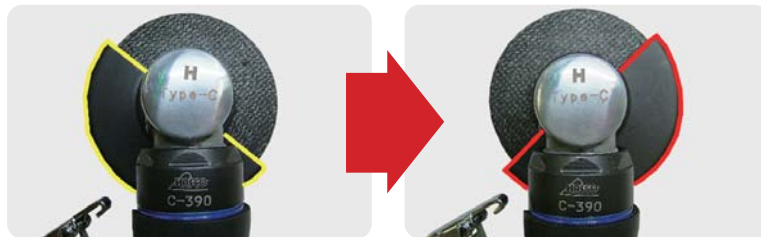
インラインレギュレーターホース付き

エアホースに取り付けるとエアツールの作動圧を自動的に 7kgf/cm²まで減圧します。

②ディスクカバーの向き調整方法



付属の 2mm 六角レンチで 3 箇所のネジを緩めてディスクカバーを左右に調整します。



3 箇所のネジの位置

ディスクカバーを外す事は法令で禁止されています。ディスクカバーに不具合が発生した場合は直ちにメーカー修理を依頼してください。

③ グリスニップル



ヘッドギアへの給油口です。

ギアの焼き付き防止の為、モリブデン系グリスを時々グリースガン等で注入してください。(ギアの寿命が延びます)

**※グリスは入れ過ぎると、軸からあふれる事があります。
その場合はあふれたグリスを拭き取ってください。**



※別売【HPW-30-122PS】
グリスニップル用ノズル



※装着例



【グリースガン(市販品)】

カッティングディスクの装着について



ディスクナット

※警告!

危険防止の為、ディスク脱着時は必ずエアー供給を外してください!

①ディスクナットを手で緩めて取り外してください。



ディスクワッシャー

②ディスクワッシャーの裏表に注意して、本体の軸に装着してください。

※警告!

**ディスクワッシャーは段差がある部分が本体軸側になります。
逆向きに取り付けるとディスクが正しく装着できず、
使用中に飛ぶ恐れがあり大変危険です!**

ディスクワッシャーは
必ずこの向きで取り付けてください。

ディスクワッシャーの段差が表側 → **逆向きです!**



HASCO C-390H エアーカッティングサンダー (3")

ディスクナットの突起 → **本体軸側です!**

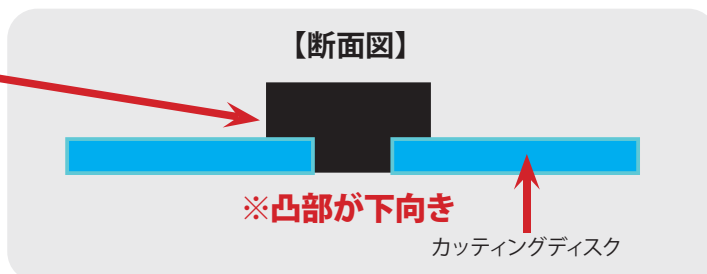
③ディスクワッシャーの突起がある方を

カッティングディスクの穴にねじ込む要領で手で回して入れてください。



※警告!

**ディスクナットは突起部分がディスク側になります。
逆向きに取り付けるとディスクが正しく装着できず、
使用中に外れる恐れがあり大変危険です!**



ディスクナット表
凹凸なし



ディスクナット裏
凹凸あり

ディスクナットの裏表に注意して取り付けてください。
ディスクナットの凸部分をディスク / 砥石の内径に合わせて取り付けます。

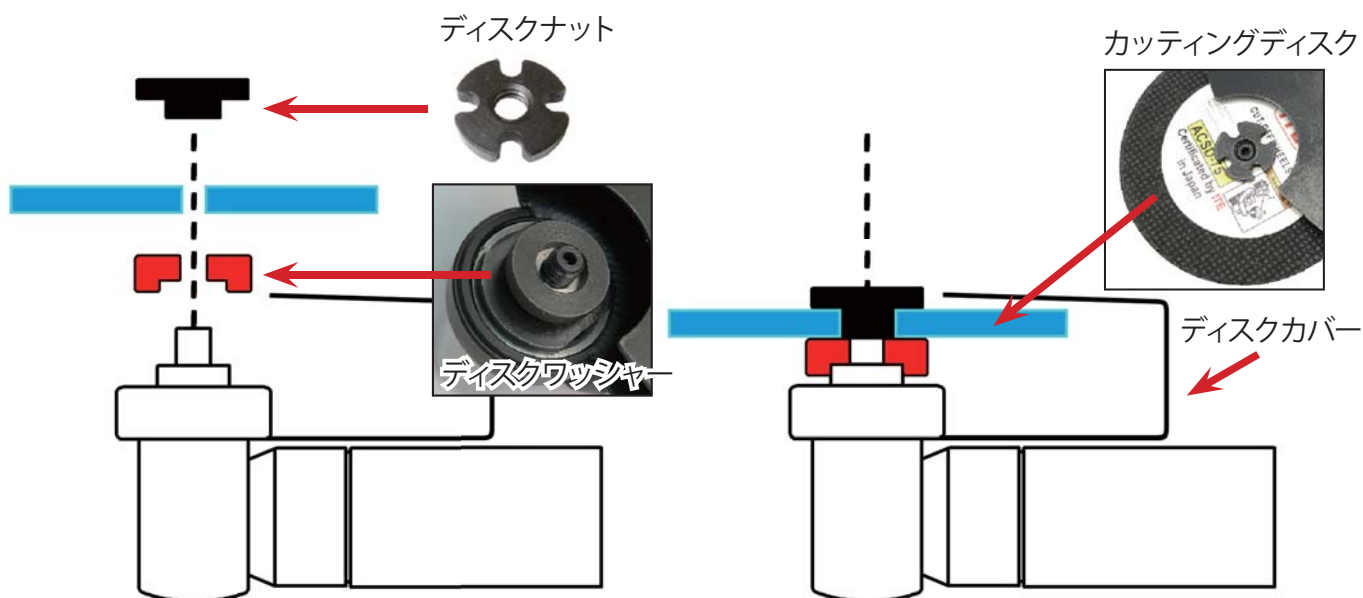
ディスクナットは
必ずこの向きで取り付けてください。



ディスクナットの突起が表側 → **逆向きです!**



【ディスクナット・ディスクワッシャー取付断面図】



HASCO C-390H エアーカッティングサンダー (3")

【注意】 既に旧 C-390 及び C-390K カッティングサンダーをお持ちのお客様へ

※現行 C-390H(及び C-390K) と旧 C-390 ではディスクナットの互換性はありません。ご注意ください。

現行タイプ= C-390H

旧タイプ= C-390K

旧タイプ= C-390



上部に「H」の刻印あり
→ **C-390H**

上部に「K」の刻印あり
→ **C-390K(旧)**

上部に刻印なし
→ **C-390(旧)**

現行 C-390H 及び旧 C-390K

⇒ ナットの突起：約 3mm/ ワッシャー付

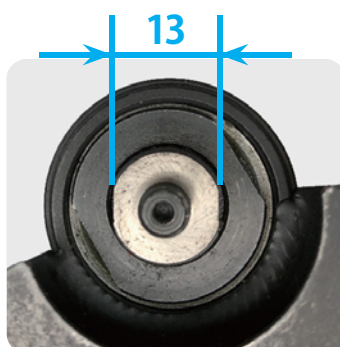


旧 C-390

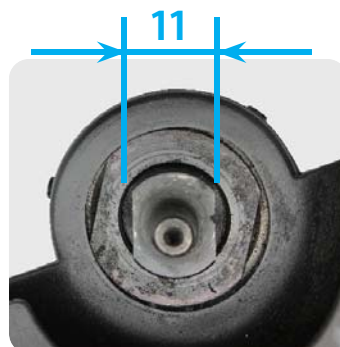
⇒ ナットの突起：約 1mm/ ワッシャー無



スピンドル幅：11mm
→ **C-390H**



スピンドル幅：13mm
→ **C-390K(旧)**



スピンドル幅：11mm
→ **C-390(旧)**

※ C-390H と C-390K のスピンドルは異なりますが、ディスクナット及びワッシャーは共通で使用可能です。

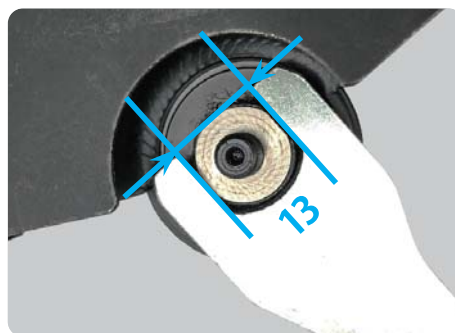
【注意】 付属のスパナにつきまして

※ C-390 シリーズは型番により、スピンドル固定スパナの種類が異なりますのでご注意ください。

(現行 C-390H 及び旧 C-390 は共通の 11mm スパナを使用。C-390K のみ 13mm スパナを使用します。)



スピンドル幅：11mm
現行 C-390H 及び旧 C-390
→ **C-390-P11：11mm スパナが使用可能**

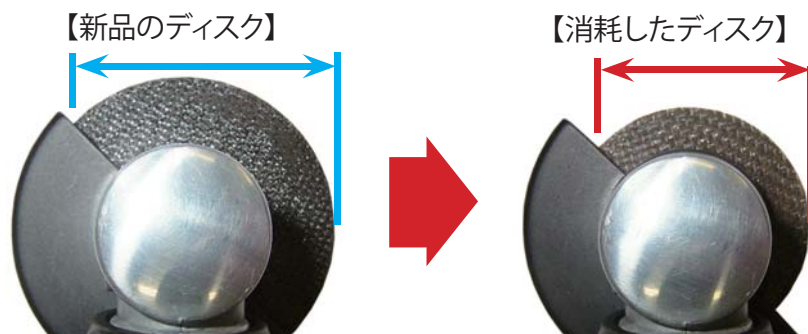


スピンドル幅：13mm
旧 C-390K → **C-390K-P6：13mm スパナのみ使用可能**



④最後に付属の 11mm スパナで軸を固定し、ディスクレンチを右方向に回してディスクナットをしっかりと締め込んでください。

カッティングディスクの交換時期について



カッティングディスクや砥石は消耗により円周が小さくなります。写真のように消耗したディスクや砥石を使用し続けると周速度の変化により、切れにくくなりますので交換が必要です。

エアーカッティングサンダー (3") / C-390H 取扱注意

- ① 保護メガネを必ず着用してください。
- ② 軍手などの編み込み系手袋類は、ほつれた糸などが回転軸に巻き込まれたりして大変危険です。絶対に着用しないでください。
- ③ 運転前に回転ディスクに割れ、欠け、歪み等が無いことを確認してください。ディスクに水分、油分を付着させないでください。湿ってしまうと脆くなるので使用不能です。長期保存の後のディスクの再使用は危険です。絶対に使用しないでください。
- ④ 使用時は少しずつ回転させてディスクに異常がないか、異音はしないか様子を見てください。
- ⑤ 使用するディスクはその機種専用のものにしてください。適当に装着すると「例えば高速回転機に低速回転用ディスクを使用する」と爆発します。決められた限界回転数に注意してください。
- ⑥ エアキャプラーからエアツールオイルを使用前と後に必ず入れてください。
回転部（ディスクを装着するヘッド部）にグリス、オイル注入口がついているものはこまめに注入してください。回転歯車類の油膜が切れると焼き付きや破壊が起きます。
- ⑦ ご使用後は切断された鉄粉やダストなどが大量に回転軸周りに付着します。シールベアリングが使われていますが汚れが入り込みベアリング球にダメージを与えますので常に清潔に保つようにしてください。

ヘッドギア
モリブデン系グリス



エアツールオイル
(エアーモーター用)

- ⑧ 工具本体の回転ディスクのカバーは絶対に取り外して使わないでください。
★高回転時のディスク割れは破片が爆発したように飛び散ります。運が悪いと死亡につながります。カバーがあれば使用者が受けるダメージを軽減できますので絶対に外さないでください。法令でも定められておりますので外した状態での使用により問題が起きた場合は当社は一切責任を持てません事をご理解ください。
★カバー類を紛失したり、破損した場合は直ちにご連絡の上、ご購入ください。製品修理時にカバーが付いていない場合は、所有事実が書面对応により確認できるまで修理に取り掛かれませのでご理解ください。
- ⑨ 切断及び研磨時はディスクをワークに対して軽く当て、擦り込む様な感じにしてください。力を掛けて押し付けるとディスクやベアリングに高負荷が掛かり傷みます。ワークによっては摩擦により焼きが入り、硬化するために切り難くなりますのでご注意ください。
- ⑩ 最大使用エア圧は 7Kgf/cm² の設計となっております。元圧が 7Kgf/cm² 以上の場合は必ず減圧してからご使用ください。使用時は辺りに火の粉が飛び散りますので、火の元には十分注意してください。

保証期間

保証条件について【ご購入後1年間】

品質的または技術的な欠陥品は、欠陥品返品修理の手順に基づき修理または新品交換致します。

欠陥品かどうかの判断は発売元が決定いたします。

当保証は、事故・不正使用・交換・意図されている目的以外での使用、または取扱説明書に従わなかった場合の損傷につきましてはいかなる保証も致しません。当保証は正式な販売店から購入された物に限定させていただきます。当保証を譲渡や移転する事はできません。発送時に発生した損傷については送付側の責任となります。返却品・輸送方法は販売店の許可が必須条件となります。

返却時の注意事項

返却品の輸送方法は販売店の許可が必要で、運送会社の指定等がありますので必ずお問い合わせの上、お送りください。また、輸送時の損傷を防ぐために十分な梱包を行ってください。返却時に発生した損傷につきましては当保証では対応できません。送付側の責任となりますのでご注意ください。